

平成 30 年度年次報告のとりまとめ方法

科学技術・学術審議会 測地学分科会地震火山部会において、「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画」（以下、本計画）の推進についての審議等を実施しています。平成 30 年度の研究成果に関しても、同部会において取りまとめることになっています。同事務局が、東京大学地震研究所に設置されている地震・火山噴火予知研究協議会（以下、予知協議会）と緊密に連携しながら効率的にとりまとめ作業を行います。

成果管理システムを利用した報告書の提出

平成 30 年度年次報告の提出にあたり、前年度までと同様「成果管理システム」を利用する。課題の連絡担当者（課題担当者）が「成果管理システム」の web にアクセスし、パスワード認証後、必要な報告事項（テキスト、イメージファイル）をアップロードして、システム上で pdf ファイルを作成することで、報告書の提出を行う。

今年度の年次報告では、本計画期間中（平成 26 年度～30 年度）の成果を報告する。その際、平成 30 年度に実施した内容がわかるように記載する。また、次期計画の下で平成 31 年度に実施予定の事項のうち、関連が深いものがあれば、実施計画の概要を簡潔に記載する。

システムは予知協議会によって設置され、測地学分科会事務局と共同で管理する。ただし各機関の代表者に、その機関における連絡担当者となっている研究課題・観測項目の一部情報管理を依頼する。

システムサーバの URL は次の通りである。

<http://yotikyo.eri.u-tokyo.ac.jp/h30/>

報告書提出に係る日程

1 月下旬	測地学分科会事務局より各機関に報告書提出の依頼 連絡担当者への ID/PW 発行とシステム案内の通知
2 月中旬～2 月下旬	報告書提出締め切り
3 月 13～15 日	成果報告シンポジウムに利用 基本的には電子媒体での資料提供
4 月～5 月	平成 30 年度年次報告【機関別】としてとりまとめ
7 月～8 月	平成 30 年度年次報告【成果の概要】のとりまとめ

平成 30 年度成果報告シンポジウム (案)

日程：平成 31 年 3 月 13 日 (水) ～3 月 15 日 (金)

会場：東京大学 武田先端知ビル 5F 武田ホール (浅野キャンパス)

主催：「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画」成果報告シンポジウム実行委員会

共催：東京大学地震研究所、京都大学防災研究所、地震・火山噴火予知研究協議会 (予定)

後援：文部科学省、防災科学技術研究所、海洋研究開発機構、産業技術総合研究所地質調査総合センター、国土地理院、気象庁、海上保安庁、日本地震学会、日本火山学会、日本測地学会 (予定)

プログラム等詳細は地震・火山噴火予知研究協議会ホームページに掲載します。

<http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/YOTIKYO/>